



とも子助産院

ニュースレター

助産師 伊藤朋子
〒981-3124
仙台市泉区野村字野村95-6
TEL 022-772-5960
メール tomo@tomo-jjp

2016年1月発行



2015年の できごと



度重なるご支援に感謝します。

2015年8月6日、にぎやかにとも子助産院リニューアルオープン。念願だった戸田さちえさんの個展を開催し、ママの手作り市・人形劇・ベリーダンス・かき氷のおふるまいなど、楽しいお祭りを4日間にわたり、行いました。4年前の震災の痛手からようやく立ち上がり、これからはママたちが集まりやすい場所に、助産師やスタッフたちが働きやすい場所に、という願いを込めて、えいやっと思いついて増築しました。



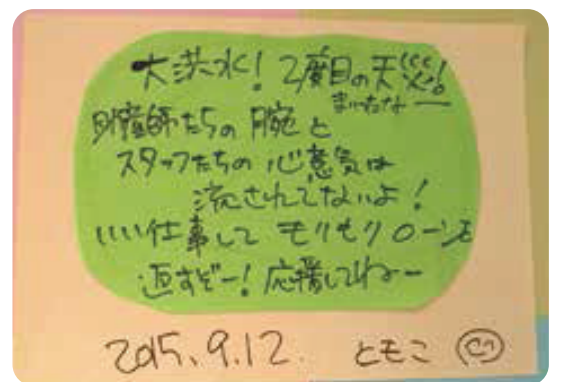
ところが、たった一ヶ月後の9.11. 豪雨で、深夜1時に床上浸水70cm! 大変な大雨でした。もともと低い場所ではありますが、この辺で何百年も農業をしていらっしゃるご近所さんでも「こんなひどいのは、初めてのことだ」と話しておられました。泥の海に浸った家財や書類を目の前にして、全部このままにして逃げ出したい気持ちになりました。でも、夜が明けると続々と片付けボランティアが集結。100人以上が手を貸してくださったと思います。タオル・スコップ・高圧洗浄機・扇風機・乾燥機・食べ物…次々に差し入れが入り、重機も入って2日間で泥だしが終わり、「これは頑張っただけじゃないんだなあ。」と改めて覚悟を決めました。愛されているなあと感激しました。「車3台が水没してしまった…」とつぶやいたら、「足がないと困るでしょ。」と岩手のNPO「子育てシップ大船渡」の代表助産師から、母子のために11万Kmも走ったという魂のこもった軽自動車が、さっと寄贈されました。「車ってもらえるんだ。」とびっくりポン。

トラック7台分の被災ごみを搬出しました。アルバムや撮りためたビデオを失った母が悔しがっています。被災額は?と言われても、値段のつけようもない古いものが惜しかったのです。歪んで開かなくなった母のダンスからは、私のへその緒や幼稚園の名札まででてきました。諦めがつくには相当の時間が必要ですね。職人さん達のがんばりで建物の修復工事は、あともう少しで終わります。

お手伝いいただいたみなさんに、きちんとお礼も言っていないのが、気がかりですが、この御恩は、地域の母と子に返していきたいと思っています。これからも見守ってください。

助産院の主要部分が2階だったため診療が続けられているのが、私の運の強いところ。家族や仲間にも恵まれ、信じる道を歩き続けることができるのが幸せです。

2016年こそ、平和で穏やかな年となりますように。



新棟の壁のメッセージボード



車を譲っていただき感謝!